

令和4年度 第2回市川市史編さん委員会 議事録

日 時：令和5年3月24日(金)18時30分～20時45分

会 場：第一庁舎 5階 第1委員会室

出席者：吉村委員長、米屋副委員長、

石川委員、杉原委員、西海委員、山崎委員

事務局：森田部長、小林課長、米田館長、矢越専門員、

浅井、長島、大野、笠川、佐藤

- [議長] ただいまより、令和4年度第2回市川市史編さん委員会を開催します。会議の開催にあたり、定足数を確認いたします。ただいまの出席委員は、委員8名中6名です。これは、市川市史編さん委員会条例第6条2項に規定する開催要件である、過半数委員の出席を満たしておりますことを確認します。なお、本審議会は「市川市審議会等の会議の公開に関する指針」により、公開となります。また、会議録の作成につきまして、従前どおり事務局が作成の後、委員長・副委員長が確認する方法でよろしいでしょうか。

・・・了承・・・

- [議長] 本日、傍聴者はいらっしゃいません。それでは、議題「刊行計画について」に入ります。事務局より議題の説明をお願いします。

- [課長] 議題「刊行計画について」に関してご説明いたします。はじめに、第1巻、第2巻の刊行についてです。昨年度、第1巻は当初令和2年度刊行であったものを2度延期し令和4年度に、第2巻は令和3年度刊行予定であったものを令和4年度に、それぞれ変更したところです。しかしながら、第1巻については原稿調整等の難航により、第2巻については原稿提出の遅れにより、今年度の刊行は不可能な状況にあります。本来であれば各巻の進捗を踏まえ、スケジュールを組み直し、新たな「刊行計画」案をご提示した上で、計画の妥当性をご審議いただくべきところですが、編さんの遅れにより第1巻、第2巻共に刊行のための制作業務委託契約を変更・途中解除せざるを得ない状況となり、現時点では、具体的な刊行時期の見込みが立たないことから財政部門より各巻制作にかかる来年度の当初予算要求が認められなかったため、新たな「刊行計画」案をご提示することができません。令和2年度以降、何度も「刊行計画」の変更（刊行延期）を繰り返し

ている状況と、今後は、厳格な予算執行を行う必要があることを踏まえますと、刊行の見通しが立たない限り、今後、新たな「刊行計画」案はご提示できないと考えています。このことから、現時点では「刊行計画」の変更は行わず、第1巻、第2巻については速やかな刊行を目指してまいりたいと考えております。

次に、第7巻（通史編）の刊行についてご説明します。

第7巻については、本編の刊行が令和3年度に完了することを前提に、そこから2年程度の制作期間を要するとの答申内容に基づき令和5年度の刊行を定めておりました。

しかしながら、さきほど申し上げましたように、第1巻・第2巻の刊行時期が明確でないことから、第7巻の刊行時期も見通しが立たない状況にあります。

また、本巻につきましては、今年度第1回目の編さん委員会において、通史編で取扱う一部の時代・分野の執筆関係者より、「本編との内容の差別化が困難である」、「通史的内容は本編掲載内容で充分である」との意見が出されている旨を報告し、議論いただきました。その結果、編さん委員会より「第1巻・第2巻の刊行後に、歴史編の内容を踏まえ、白紙に戻すことも視野に入れた再審議を行う」とのご意見をいただいたところです。

このことから、第7巻についても、現時点では「刊行計画」の変更は行わず、第1巻・第2巻の刊行後に、歴史編の内容を踏まえ、白紙に戻すことも視野に入れた再審議をお願いしたいと考えております。

以上、第1巻・第2巻・第7巻の刊行計画について、各巻の状況および本市の見解についてご説明させていただきました。

本件に関しまして、委員会よりご意見をいただきたく、お願い申し上げます。

[議長] ただいま、事務局より、第1巻と第2巻、第7巻について、各巻の状況説明と今後の方針に関する市の見解が示されました。本件につきまして、委員会の意見を求められましたので、議論したいと思います。おひとりずつ、順番にご発言をお願いいたします。

[杉原委員] (第7巻は) 第1巻、第2巻刊行後に検討するということですか。

[議長] そうですね。

[杉原委員] そうすると最終的な刊行はいつごろになるのでしょうか。

[議長] 第1巻、第2巻が出てからということで、来年度出るのであれば課長の話からするとその後2年程度ということでしたが、常識的に考えると2年以内でしょうか。そのように思います。

- [杉原委員] その後に原稿を作り始めるのですね。
- [議長] その前から始めても、心の準備をしても構わないかと思いますが。
- [杉原委員] かなり後のことになりますね。
- [議長] 第1巻、第2巻の状況で、この時期ですから仕方ないかと思いますが、このような方針でいかがでしょうか。とりあえず、7巻問題は1、2巻が出てからということになっています。1、2巻をどうするかが主要な問題です。今年度はあと1週間しかありませんから、刊行しろと言っても常識的に無理ですね。
- [杉原委員] やむをえないですね。
- [議長] 石川委員のご意見は。
- [石川委員] 特にありません。
- [議長] 山崎委員のご意見は。
- [山崎委員] 特にありません。
- [議長] 米屋委員のご意見は。
- [米屋委員] 当初の第1巻の刊行計画について、自分は文学の領域で万葉集のことに関心があり、真間の入江に関心を持っていて、今回の刊行である程度、真間の入江がどうであったのかが確認できるような話が当初あったので、進行形のさなかに文学関係者、特に万葉の研究者が楽しみにしていた。掲載について確認したい。
- [議長] これは第1巻の内容に関する事なので、あとの報告で行いたいと思います。西海委員のご意見は。
- [西海委員] 特にないが、事務局で説明されたように1、2巻が出ない場合、7巻も出ないことも視野においていくということが気になりました。
- [課長] 7巻については、前回の編さん委員会で議論いただき、1、2巻の刊行後の内容を踏まえて再度編さん委員会にて審議いただくこととしております。そのためすべての可能性がありますので、白紙という言葉も入れておりますが、フラットな状態で内容によってご審議いただくということです。

[議長] 私の意見は、かつて外環道路の問題、評価をめぐって近代編（第4巻）の時に3月の末日でしたが、持ち回りで延期を決めたことがあった。3月の月末になってのこのような審議はやめようと確認したうえで、持ち回りの回答をもらったことがあった。あの時も延期せざるをえなかった。今回ももう3月でこの時点ですから、事務局の方にはもう少し早く、例えば1月くらいにこのような会をもってほしいと思います。1月でしたら年度内にできることもあったかもしれません。市史は年度内には難しいとは思っていました。今後は早めの編さん委員会としての対策が必要ではなかろうかと思います。そうしないと、実際に原稿が延ばし延ばしで、編さん委員会では執筆が大変だということはわかりますが、予算を執行する立場になりますと、何をやっているのだろうと一般的には思いますよね。そのようなことも含めると、対策を練るような編さん委員会を早めに考えて行かないと、また繰り返すのではないか。実際は、西海委員も話されていましたが、通史問題など色々ありましたが、今後は編さん委員会として早めの対策を打つようにしていきたいというのが正直な気持ちです。そのように準備していただきたいです。他に何かありますか。

・・・了承・・・

[課長] （ご指摘の件については）注意していきます。

[議長] では第1巻、第2巻および7巻については、了承されたということにさせていただきます。

[議長] 「刊行計画」の変更については、各巻の刊行の見通しが明らかとなり、制作にかかわる予算が確定した後に改めて事務局から「刊行計画」案を提示してもらい、審議することとします。今回は2年間（刊行が）できなかったのも、どのような予算措置をとった上で刊行に持ち込むのか、事務局から事前に説明がなかった。このようなことも市長の諮問委員会とはいえ事前に諮るべきだと思っています。担当巻の方々のご存じであったようです。そのような問題も含めて審議しなければならない。次に、刊行するためには市川市の予算執行の立場からどのような手続きになっているのか。その説明が今までなかった。そのような説明も含めて審議することになるかと思えますので、説明をお願いします。

[課長] 刊行計画に関しましては、先ほど説明しましたとおり見通しが立たない状況にあります。ある程度見通しが立たないと刊行計画が無効となり繰り返すこととなりますので、刊行計画については（現時点では）変更をせず、見通しが立った時点で改めて刊行計画を立て直し審議することで

進めさせていただきたいと思います。

予算に関しましては、同じように見通しが立った時点でないと予算要求は認めないと、財政部門から言われていますので、それも含めて見通しが立ってから動く形になっております。

(来年度は) 当初予算では要求できませんでしたので、見通しが立てば補正予算を要求していくなどの対応をして、なるべく早く出せるように努めて参りたいと思っております。

[議長] その説明をしっかりとさせていただきたい。現行の市川市の予算案では、1巻、2巻は刊行できない、(予算は) ついていないのですか。

[課長] ついておりません。

[議長] ここの認識が、説明をしてもらっていないので全然わからない。先日の事前説明で初めて知ったぐらいです。現在の市川市の予算案では1、2巻の予算措置が取られていないということです。そのまま放置すると何もできないということです。そこで課長が話されたように、補正予算の時に刊行できるようにする、ということのようですが、このあたりをもう少し説明してください。補正予算を要求するためにはどのようにすればよいのかということです。

[課長] 全ての原稿が揃い調整まで完了し、入稿できる状態まで見通しが立てば、これを基に進めることは可能かと思えます。繰り返しになりますが、1、2巻に関しましては、一旦予算がついて契約まで行いましたが、その後、原稿調整等が進まず滞り、契約を途中で解除している状況です。そのようなことを繰り返すことはできないため、今後は見通しが立ってから、その根拠をもって補正予算で取っていくことになっていきます。

[議長] 市川市の場合の補正予算の時期(期限)について説明願います。補正も手続きが必要かと思えます。

[課長] 市川市においては議会が6月、9月、12月、2月と年4回通常開かれております。概ね議会の2カ月前に議案を出す調整を行います。そのため、2カ月前に根拠となる原稿を示すことができれば、それを基に議案を上げて予算が認められるという流れです。今の時点でいう事は難しいですが、2巻ですと、最速で12月を目標にしているところです。1巻に関しましては今のところ具体的な目標設定が難しい状況です。

[議長] 私自身も、複数の委員から、3月に原稿を出せとはどのような状況なのかと聞かれたのですが、全然聞いていなかったのがわからなかった。補正にかけるために、ある程度の原稿が必要との根拠があって、補正予算

を要求することを委員が情報共有していたらよかった。出すためにはどのような補正の手続きが必要かは教えておいてほしかった。その際、どの程度の原稿の精度（が必要なのか）などもある。完成原稿なのか、ある程度できている原稿で手直しをしてもよいのか。執筆するとなるとそのようなことが気になるわけです。それが説明不十分だったのではないかと考えています。

[課長] 説明に関しましては、第1巻、第2巻ともに編集委員会の中で説明しており、期日を含めてお話をさせていただいております。ただし、1巻に関しましては事務局に一任するというようなことになっており、編集委員会で結論は出ておりません。2巻に関しましては、3月末の締切りを含めてご了解いただいております、編集委員会の中では共有されております。そのような根拠で進めております。

[議長] それでは知らないのは、編さん委員だけでしょうか。担当巻以外の方が知らなかったということですかね。ただ、出来ましたら編さん委員会での情報共有もしていただけたら円滑に進められると思います。

[杉原委員] 第1巻については6月の議会にかけるということになるのですか。

[課長] 1巻に関しましては、現在事務局に一任となっておりますので、事務局の方で検討しております。

[議長] 1巻は事務局に一任となっているというのは。

[課長] 申し訳ありませんが、刊行計画の見直しを（現時点では）行わず、見通しが立ってから刊行計画を改めてご審議いただくという本日の議題で一旦議事を閉めていただいて、杉原先生がご心配されている1巻などは、この後の報告でご説明し、ご意見もいただく機会がございますので、そのように進めていただきたくお願いいたします。

[議長] 現在の市川市史に関しましては、1、2巻の予算執行の措置は取られていない。このままでは本は出ない。そのために補正という措置を取られるということ、そのための財政的段取りについては、いずれ行うということではよろしいのではないのでしょうか。補正を出すか出さないかということは、やっておかないと（決めておかないと）本が出るか出ないかわからない。ただ単に延期するだけで、出さないということではなくて、具体的に補正などを使って出す段取りを作る。そういう措置を取られるということをお前提にして延期していく、ということではないのでしょうか。

[課長] 議題に関しましては、「刊行計画」は現状のままといたします。変更

は見通しが立っていないので致しません。見通しが立った状態で刊行計画の変更案を作らせていただき、諮問し答申いただく。今後この流れで進めさせていただきます。また、現在、市川市公式 web サイトで公開している「刊行計画」については、ご覧になった方に分かりやすいよう、欄外に「現在調整中」などの文言を追記し公表させていただきます。このようなことで進めさせていただきます。

[議長] 予算措置を加味するともう少し具体化したほうが良いかとは思いますが、腑に落ちないところもありますが、後ほど報告事項で説明いただきますしょう。
議題としてはこれでよろしいでしょうか。

・・・了承・・・

議題につきましては、これにて終了とさせていただきます。